

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		甲南大学（学部・学科等の課程）		設置者名	学校法人 甲南学園				
学部・学科等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況（令和3年度）			
学部	学科等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
							実数	個別	
文学部	日本語日本文学科	昭和32年度	70人	中一種免（国語）	令和元年度	72人	10人	10人	8人
				高一種免（国語）	令和元年度			10人	
	英語英米文学科	昭和32年度	90人	中一種免（英語）	令和元年度	97人	7人	7人	3人
				高一種免（英語）	令和元年度			7人	
	社会学科	昭和32年度	90人	中一種免（社会）	令和元年度	97人	3人	1人	1人
				高一種免（公民）	令和元年度			3人	
	人間科学科	平成8年度	95人	中一種免（社会）	令和元年度	97人	4人	4人	4人
				高一種免（地理歴史）	令和元年度			4人	
				高一種免（公民）	令和元年度			4人	
	歴史文化学科	平成13年度	60人	中一種免（社会）	令和元年度	63人	8人	8人	6人
高一種免（地理歴史）				令和元年度	8人				
理工学部	物理学科	平成13年度	50人	中一種免（理科）	令和元年度	45人	6人	6人	3人
				高一種免（理科）	令和元年度			6人	
	生物学科	平成13年度	45人	中一種免（理科）	令和元年度	42人	5人	5人	3人
				高一種免（理科）	令和元年度			5人	
	機能分子化学科	平成13年度	60人	中一種免（理科）	令和元年度	66人	5人	5人	1人
				高一種免（理科）	令和元年度			5人	
経済学部	経済学科	昭和27年度	345人	中一種免（社会）	令和元年度	386人	2人	1人	1人
				高一種免（地理歴史）	令和元年度			2人	
				高一種免（公民）	令和元年度			1人	
法学部	法学科	昭和35年度	345人	中一種免（社会）	令和元年度	396人	6人	6人	1人
				高一種免（地理歴史）	令和元年度			6人	
				高一種免（公民）	令和元年度			6人	
経営学部	経営学科	昭和35年度	345人	中一種免（社会）	令和元年度	407人	2人	1人	0人
				高一種免（公民）	令和元年度			1人	
				高一種免（商業）	令和元年度			1人	
知能情報学部	知能情報学科	平成20年度	120人	中一種免（数学）	令和元年度	127人	5人	4人	3人
				高一種免（数学）	令和元年度			4人	
				高一種免（情報）	令和元年度			1人	
入学定員合計			1,715人	合計		1,895人	63人	132人	34人
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学部・学科等の名称等」欄は、令和4年4月1日現在の名称・定員である。</li> <li>「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。</li> </ul>								

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている専攻等の概要

大学名		甲南大学（研究科・専攻等の課程）		設置者名	学校法人 甲南学園					
研究科・専攻等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況（令和3年度）				
研究科	専攻等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	修了者数	免許状取得者数		教員就職者数	
							実数	個別		
人文科学研究科	日本語日本文学専攻	昭和39年度	5人	中専免（国語）	令和元年度	0人	0人	0人	0人	
				高専免（国語）	令和元年度			0人		
	英語英米文学専攻	昭和39年度	6人	中専免（英語）	令和元年度	1人	0人	0人	0人	
				高専免（英語）	令和元年度			0人		
	応用社会学専攻	昭和39年度	5人	中専免（社会）	令和元年度	1人	0人	0人	0人	
				高専免（地理歴史）	令和元年度			0人		
				高専免（公民）	令和元年度			0人		
	人間科学専攻	平成11年度	10人	中専免（社会）	令和元年度	0人	0人	0人	0人	
				高専免（公民）	令和元年度			0人		
	自然科学研究科	物理学専攻	昭和39年度	12人	中専免（理科）	令和元年度	7人	0人	0人	0人
					高専免（理科）	令和元年度			0人	
		化学専攻	昭和39年度	12人	中専免（理科）	令和元年度	10人	0人	0人	0人
高専免（理科）					令和元年度	0人				
生物学専攻		昭和39年度	5人	中専免（理科）	令和元年度	4人	2人	2人	0人	
				高専免（理科）	令和元年度			2人		
知能情報学専攻		平成5年度	6人	中専免（数学）	令和元年度	5人	0人	0人	0人	
				高専免（数学）	令和元年度			0人		
社会科学 研究科		経済学専攻	昭和40年度	10人	中専免（社会）	令和元年度	4人	0人	0人	0人
					高専免（公民）	令和元年度			0人	
		経営学専攻	昭和40年度	10人	中専免（社会）	令和元年度	0人	0人	0人	0人
					高専免（公民）	令和元年度			0人	
フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻	平成21年度	15人	中専免（理科）	令和元年度	11人	0人	0人	0人	
				高専免（理科）	令和元年度			0人		
入学定員合計			96人	合計		43人	2人	4人	人	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「研究科・専攻等の名称等」欄は、令和4年4月1日現在の名称・定員である。</li> <li>「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各専攻等の実人数、「個別」欄は各専攻等内の教職課程ごとの人数である。</li> </ul>									

## 教職課程認定大学の实地視察に対する講評

実地視察日：令和4年12月2日（金）

実地視察大学：甲南大学

## 【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程、教員組織等については、全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。引き続き、教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

## 【個別事項】

## 1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 教員養成に対する理念・構想が示されているが、それを明確化・具体化するための教職課程に対する全学的な組織、教育課程及び教員組織をより一層充実させるように今後も努めていただきたい。

## 2. 教育課程、履修方法及びシラバスの状況、教員組織

- 「教科に関する専門的事項」の授業科目について、各学部・学科でも教職課程の充実について検討し、「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の授業科目との連携を図り、より一層の充実に努めていただきたい。
- 「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の科目を担当する実務家教員のうち、担当授業科目に関する研究業績が充分にあるか判然としない教員が一部見られた。採用後も研究業績を積むように大学として指導していただきたい。
- 教職教育センターについて、教職課程の全学的なマネジメントだけでなく、各学部・学科の教職課程の質を確保及び向上できるよう、各学部・学科との有機的な連携及び学内での位置づけを検討すること。

## 3. 教育実習の取組状況

- 教育実習に対する各学部・学科の理解が得られることを期待し、各学部・学科の教員が巡回指導を行っている点は評価できる。今後は各学部・学科と教職教育センターの教員の連携をより深めることで、教育実習のより一層の充実を図っていただきたい。

## 4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 教職教育センターに教職教育センター共同研究・実習室（KTL）や教職教育センターコモンズ（KTC）を設置し、デジタル教科書の活用方法など、校長経験者等の教職指導員による学生への実践的かつきめ細やかな指導が行われている点について、評価できる。
- 学生に指導ができるよう実務家教員にも ICT に関する指導を行っている点は評価できる。
- 履修カルテについて、ルーブリックの導入や指標の具体化など、学生が自分自身の強みや弱みに気づき、今後の課題がより明確になるよう、一層の充実に努めていただきたい。

#### 5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 学校ボランティアの早期化等により、教員を志望する学生を早期から確保できるよう取り組んでいる点は評価できる。引き続き、教職科目の前倒しなど教員を志望する学生を確保できるよう、学内で検討していただきたい。

#### 6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 学生が中学校及び高校の教科書に掲載している実験を模擬授業の演習で行えるよう、理科教育実習室の備品・物品等の設備が充実している点は評価できる。
- ICT 活用について、学生が教員になった際に児童生徒に ICT 活用を促せるような教育課程及び施設・設備の一層の充実に努めていただきたい。

#### 7. その他特記事項

- 神戸親和女子大学の通信教育部で科目等履修生として小学校教諭一種免許状を取得する「小学校教諭一種免許状取得プログラム」の学生に対しても教職教育センターによる手厚い指導がなされている点は評価できる。
- 2. 教育課程、履修方法及びシラバスの状況、教員組織にも記載のとおり、大学全体で教員養成を推進する際に、教職教育センターの役割を明確化し、各学部・学科との連携を図りながら教職課程のより一層の充実に努めていただきたい。